

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	Net Chg
<b>Forex</b>	USD/BRL	Spot	2,4340	2,4110	2,4000	2,3820	<b>2,3790</b>	-0,0030
	USD/YEN	Spot	101,01	101,66	101,33	102,13	<b>102,30</b>	+0,1700
	EUR/USD	Spot	1,3527	1,3516	1,3516	1,3533	<b>1,3633</b>	+0,0100
	BRL/YEN	Spot	41,40	42,25	42,19	42,88	<b>43,00</b>	+0,1200
<b>Swap</b>	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,50	1,52	1,46	1,45	<b>1,39</b>	-0,0510
		1Year(p.a.)	1,93	1,97	1,95	1,92	<b>1,89</b>	-0,0360
	Real Interest	6MTH(p.a.)	11,24	11,15	11,15	11,13	<b>11,05</b>	-0,0807
		1Year(p.a.)	11,82	11,67	11,54	11,57	<b>11,46</b>	-0,1057
<b>Stock</b>	<b>Bovespa</b>		46.148	46.964	46.624	47.738	<b>48.074</b>	+335,51
<b>Bond</b>	<b>CDS Brazil 5y</b>		206,25	206,25	206,25	206,25	<b>206,25</b>	
	<b>Global 40</b>		113,650	113,825	113,825	113,975	<b>113,825</b>	-0,1500

\* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	0.42%	0.40%	0.69%	なし
IBGEインフレIPCA(前月比)	0.61%	0.55%	0.92%	
IBGEインフレ率IPCA(前年比)	5.65%	5.59%	5.91%	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.4020 で寄り付いた。
- 週初は中国国家統計局などが発表した 1 月の PMI が半年振りの低水準となったことから新興市場が売られる展開となつたほか、米 ISM 製造業景況指数が予想比悪い結果となったことからリスクオフモードに拍車がかかり、レアルは週間安値となる U\$1=R\$2.4020 まで下落した。
- 翌 4 日には新興国通貨が対ドルで大きく買い戻される展開となり、レアルも 2.40 台後半まで反発した。
- 週央にはレアルは一時 2.14 台後半まで売り戻されるも、米 ADP 雇用統計が発表され、1 月の雇用者数の伸びが市場予想に届かなかつたことからリスク資産の買い戻しにつられてレアルも 2.40 台前半まで回復した。
- 翌 6 日には PTAX 決定に向けてのドル買いが多く見られたが、その後に ECB 政策決定会合後の記者会見でのドラギ総裁は ECB が早ければ 3 月にも低インフレとの闘いで行動する可能性を示唆し、ユーロが急伸した。レアルもつられて大きく反発し、一気に 2.37 台後半まで上昇した。
- 週末にかけては米雇用統計が発表され、予想を大きく下回ったことからレアルは続伸、週間高値となる U\$1=R\$2.3700 まで上昇した後、2.39 台まで反落し、結局 U\$1=R\$2.3790 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧説を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
2/10	FGV CPI IPC-S	Feb 9	0.95%	0.99%
2/11	FIPE CPI-週次	Feb 7	0.90%	0.86%
2/11	IGP-M Inflation 1st Preview	Feb	0.39%	0.37%
2/12	貿易収支(週次)	Feb 9	--	--
2/13	小売売上高(前月比)	Dec	0.4%	0.7%
2/13	小売売上高(前年比)	Dec	5.0%	7.0%
2/13	広義小売売上高(前年比)	Dec	5.5%	5.7%
2/14	経済活動(前月比)	Dec	-1.15%	-0.31%
2/14	経済活動(前年比)	Dec	1.20%	1.34%
2/14	登録雇用創出合計	Jan	59348	-449444

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.37 - 2.42

今週は米雇用統計などの重要経済指標が多く発表され、市場ではボラティリティーの高い週となった。リスク回避の動きが強まりレアルは2.44台まで下値を拡大した一方で、米雇用統計が予想を下回ると2.37台まで反発する展開となった。市場は米金融緩和縮小のペースと新興国の経済状況の両方に大きく影響され、方向性が読めない状態である。来週は国内外で重要な経済指標に乏しく、レアル相場を大きく動かす要因が少ないと考えられ、ボラティリティーも低下するであろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。